

吉本興業の所属タレント約6000人を対象に
noteで開催された原作オーディション、最優秀作品賞が決定！
受賞作は、書籍化・映像化へ



吉本興業の所属タレント約6000人を対象にnoteで開催された「芸人原作オーディション ゼロイチ」の各賞受賞者が決定。最終プレゼン大会は8月23日にBSよしもとで放送されました。約600作品の応募があり、最優秀作品賞には安部若菜さんのホラー小説『ここにきてください』が選ばれ、note賞とのW受賞となりました。受賞作は、今後書籍化・映像化をめざします。そのほか、各賞の詳細をご報告します。

受賞結果



- **最優秀作品賞 / note賞（W受賞）**：安部若菜 『ここにきてください』
https://note.com/_wakapon/_n/n837fa415b1be
- **優秀賞（書籍化部門）**：ファビアン（あわよくば）『ショートショートトーキョー』
<https://note.com/fabian/n/n402aa00eeacb>
- **優秀賞（映像原作化部門）**：
ヒューマン中村『死神』https://note.com/human_nakamura/n/nac2ea1c36c79、
つじくん『ループする芸人』<https://note.com/kodonadoko522/n/ncc070e7123db>
- **第一芸人文芸部賞**：シゲカズです『口の悪い少女』
<https://note.com/shigekazudesu/n/n55bf76c54354>
- **FANY:D賞**：橋本大祐（ホテル）『推してもない芸人と繋がりたい』
<https://note.com/daisuke32768/n/n56a77bcad295>

※各作品のURLは元になったnote記事のリンクです。作品タイトルとnote記事のタイトルが異なる場合があります。

「芸人原作オーディション ゼロイチ」とは

吉本興業に所属する約6000人のタレントを対象に、書籍化・映像化・舞台化・ゲーム化など複数メディアへの展開が可能な原作を募るオーディションです。noteを投稿・選考プラットフォームとして活用し、作品のPV数やスキ数など読者の反応が第一次選考に影響する「読者参加型」の仕組みが特徴です。

2026年1月に応募を開始し、3月末の投稿締切を経て、4月末に最終候補者18名を発表。8月23日に最終プレゼン大会をBSよしもとで放送しました。

最終候補者18名（五十音順）

- アキナ・山名文和
- あわよくば・ファビアン
- 安部若菜
- 軍艦・仁
- シゲカズです
- そいつどいつ・松本竹馬
- 翠星チークダンス・木佐
- 滝音・さすけ
- つじくん
- ドンデコルテ・小橋共作
- ニッポンの社長・辻クラシック
- パタパタママ・木下貴信
- 野村尚平
- ヒューマン中村
- ピストジャム
- 平成ノブシコブシ・徳井健太
- ホテル・橋本大祐
- 瀬尾健太郎



審査体制（※敬称略、五十音順）

- 配信プラットフォーム及び映像関連会社：FANY:D、FOD、バルス、ピクス、U-NEXT
- 映画会社：松竹、東宝、日活、ハピネットファントム・スタジオ
- 出版社：飛鳥新社、イマジカインフォス、太田出版、河出書房新社、講談社、サンマーク出版、小学館、新潮社、すばる舎、ダイヤモンド社、宝島社、辰巳出版、PHP研究所、扶桑社、文藝春秋、ポプラ社、マガジンハウス、ヨシモトブックス、ワニブックス
- note株式会社
- オブザーバー：尾崎世界観、野沢直子、又吉直樹

note株式会社 取締役 執行役員 三原琴実 コメント

今回のオーディションでは、noteに投稿された作品に多くの読者が「スキ」やコメントで温かい反応を寄せてくださいました。その一つひとつの声が、タレントのみなさんの創作を後押しする大きな力になったことを、大変うれしく思っています。

note賞に選ばせていただいた安部若菜さんの『ここにきてください』は、だれもが日常的につかうアプリの中に恐怖を忍ばせる着想が鮮烈で、読後も日常の景色が少し違って見えるような余韻を持つ作品でした。本作は、クリエイター支援プログラムを通じて86の出版社・編集部へご紹介させていただきます。これからもnoteが、新しい才能や物語が読者と出会い、その先の大きな展開へとつながっていく場であり続けられるよう取り組んでまいります。

番組情報

BSよしもと「第一芸人文芸部 俺の推し本。」特別番組



放送日時：2026年8月23日 18:00～20:00

<https://bsy.co.jp/programs/by0000024355>

制作：吉本興業 製作著作：BSよしもと株式会社

協力：株式会社NTTドコモ・スタジオ&ライブ、note株式会社

supported by 第一芸人文芸部

note

noteはクリエイターが文章や画像、音声、動画を投稿して、ユーザーがそのコンテンツを楽しんで応援できるメディアプラットフォームです。だれもが創作を楽しんで続けられるよう、安心できる雰囲気や、多様性を大切にしています。個人も法人も混ざり合って、好きなものを見つれたり、おもしろい人に出会えたりするチャンスが広がっています。2014年4月にサービスを開始し、約8209万件の作品が誕生。会員数は1248万人（2026年5月末時点）に達しています。

- URL： <https://note.com/>
- iOSアプリ： <https://itunes.apple.com/jp/app/note-noto/id906581110>
- Androidアプリ： <https://play.google.com/store/apps/details?id=mu.note>

note株式会社

わたしたちは「だれもが創作をはじめ、続けられるようにする」をミッションに、表現と創作の仕組みづくりをしています。メディアプラットフォームnoteは、クリエイターのあらゆる創作活動を支援しています。クリエイターが思い思いのコンテンツを発表したり、メンバーシップでファンや仲間からの支援を受けたり、ストアで店やブランドオーナーが商品を紹介したり、note proを活用して法人や団体が情報発信をしたりしています。

所在地：〒102-0083 東京都千代田区麹町6-6-2 設立日：2011年12月8日

代表取締役CEO：加藤貞顕 コーポレートサイト：<https://note.jp>

【本件に関するお問い合わせ先】

note株式会社 IRお問い合わせ窓口：<https://ir.note.jp/inquiry>